

平成 22 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役 CEO 此下 竜矢
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

国内最大級の（ゴムライニング用）大型加硫缶 の更新（再建造）について

当社のゴム製品の製造・販売を行う子会社、昭和ゴム株式会社（代表取締役 渡邊 正）において、国内最大級の（ゴムライニング用）大型加硫缶を更新（再建造）することに決定いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

現在、当社が保有している大型加硫缶はアジア最大級を誇り、長年に亘り当社の主力事業であるゴムライニング事業を支えてまいりました。この度、その建造から四十五年が経過したことや、昨今の当社へのお客様からの見積もりの引き合いも増加基調にありますので、同業他社に先立ちこのタイミングで新たに大型加硫缶を更新することに決定いたしました。



現在のライニング用大釜

ゴムライニングは、現代の化学・工業プラント施設を稼働させる為には必須の技術であり、化学、食品、医薬品、原子力、鉄鋼、水処理、環境設備、鉱山など幅広い産業分野において、反応槽、吸収塔、電解槽、ローリータンク、排煙脱硫装置、化学、食品医薬品、原子力、鉄鋼、水処理、環境装置などに活用されております。

当社はゴムライニングの製造に着手して 80 有余年の歴史を有し、その長い歴史の中で培われた高度な技術とノウハウを基に、お客様のニーズにあった材料の選定から施工までをカバーし、工場内施工はもちろんのこと、現地での施工にも対応しております。



柏工場内 ライニング工場

さらに、既設ゴムライニング製品の診断や、寿命評価（現地点検、既設ライニング部よりサンプリング）、ゴムライニング製タンク等の処分（ゴム剥離後、産業廃棄物とリサイクル部品への分別廃棄）などのサービスも提供しており、当社はゴムライニングに関しては、お客様のどのようなご要望にも対応できると自負しております。

特に今後、日本国内においては各地の原子力発電所が改修時期を迎えており、その需要が見込まれております。同時に原子力発電所はクリーンエネルギーとしても注目され、新設も見込まれております。当社の技術は原子力発電所の安定操業に寄与してきたと自負しており、今後も当社の成長戦略の一つの柱と考えております。

又、当社が策定した中期経営計画におきましては、海外（アジア）への展開も重点項目のひとつとして掲げられております。この一環として昨年 11 月には、マレーシアのライニング事業会社「TOYO RUBBER (MALAYSIA) SDN.BHD.（現 SHOWA RUBBER MALAYSIA SDN.BHD.(SRM)」の株式を取得し、連結子会社化しアジアへの足がかりを獲得するに至りました。



SHOWA RUBBER (MALAYSIA) SDN. BHD.

今後のアジアでは人口の増加と都市化、草の根経済の成長が見込まれており、高い経済成長や消費の増加が見込まれております。この需要を満たすべく、原子力発電所の建設、各種のプラントの建造、鉱山開発などが増加すると見込まれております。当社新子会社であります SRM 社はライニングメーカーとしてマレーシア国内はもちろん、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシアなどでその営業網と技術力でビジネス展開をしている実績があります。また、この東洋ゴム様由来の技術と、当社独自の技術の融合がさらなる実績の拡大につながるものと考えております。



SRM 社 ライニング用大釜

当社といたしましては、東南アジアに本拠地を置く当社が所属する APF グループのネットワークも活用し、積極的に海外（アジア）でのゴムライニングの受注獲得も目指していく所存です。

今後とも中期経営計画を達成し、株主と社員の幸福に貢献する「200 年企業」を目指し経営改革を進めて参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以 上